

---

# 東北大学陸上競技部

## OB・OG通信

2020年 No.1 (2020.4)

---

- ・ 第 17 回国公立 27 大学対校駅伝  
女子優勝、男子準優勝
  - ・ 第 73 回宮城県駅伝競走大会  
東北大 A チームが準優勝
  - ・ 第 38 回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会  
栗原(M2)が栃木県代表として 5 区を出走し区間 18 位を記録
  - ・ 第 68 回元旦競歩大会  
中川(M2)が男子 20kmW において 88'37 の部記録を樹立
  - ・ 第 40 回短距離・長距離・フィールド競技会  
倉田(4)、佐貫(4)、上条(4)、羽田(4)が男女混合 4×400mR で 3'42"62 の部記録を樹立
  - ・ 第 274 回日体大長距離記録会  
栗原(M2)が女子 5000m において 16'34"98 の東北大歴代 2 位の記録を樹立
- 

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・ 今年の抱負               | 2～6 ページ |
| ・ 第 17 回国公立 27 大学対校駅伝 | 6 ページ   |
| ・ 第 73 回宮城県駅伝競走大会     | 6～7 ページ |
| ・ 令和 2 年度三秀総会         | 7 ページ   |
| ・ 令和 2 年度卒業祝賀会        | 7 ページ   |
| ・ 三秀会関東支部皇居一周・懇親会について | 7 ページ   |
| ・ 自己ベスト更新者            | 8 ページ   |
| ・ 今後の予定               | 8 ページ   |
| ・ 編集後記                | 8 ページ   |

東北大学陸上競技部三秀会  
〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1  
東北大学評定河原グラウンド内  
hukumu\_tohoku\_ob2sin@yahoo.co.jp

会員の皆様におかれましては、感染症拡大の影響を受け、大変な日々をお過ごしのことと拝察いたします。このような状況ではございますが、陸上競技部の今年の抱負をお伝えするとともに、陸上競技部、三秀会の最近の活動を報告いたします。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## **○主将、女子主将、各 PC より今年の抱負**

### **◆主将 芦田 周平**

お世話になっております、東北大学学友会陸上競技部主将の芦田周平です。今年の抱負についてこの場で述べさせていただきたいと思っております。

今年の抱負は「七大戦での男女アベック優勝」です。長年未達の、難易度の高い目標であると思っております。そんな中で、私の代で男女総合優勝が達成できたらさぞ気持ちいいだろうな、と思い、またそんな思いが実現できそうなチームがあったため、この目標を掲げました。今後も目標の実現のため泉屋とともに部の代表として邁進していく所存です。

さて、昨今は新型コロナウイルスの影響でほとんどの大学で部活動は禁止となり、我々も例外ではありません。現在は個人の練習のみを認め、少人数での練習も禁止としています。評定の使用も禁止された中で、なおかついつその規制が解かれるかわからない中でモチベーションを維持することは容易ではないのかもしれませんが、しかし、それでも我々は前を向いて努力を積んでまいります。各パートで練習日誌を行ったり、slack で練習場所を共有したり、オンラインで繋がりながら筋トレをやったり。苦難の時にはみんなで協力して乗り越えていく。そんな気概がこの部にはあります。ぜひ、我々に期待してください。このチームで、大きな成果を残していこうと思っております。応援の程、宜しくお願い致します。

### **◆女子主将 泉屋 咲月**

現在女子主将を務めております、泉屋咲月です。次回七大戦までという期間ではあります、よろしくお願い致します。

まずこれまでの取り組みについてです。昨年8月から任期が始まり、初めは手探りではありましたが、女子ミーティングの改善や記録管理体制の改良など様々な取り組みを進めてまいりました。特にマネージャーの協力のもと作成した「けが人管理リスト」は今までにない新たな取り組みになったのではないかと思います。選手の自己体調管理や怪我の防止、マネージャーと選手とのコミュニケーションのツールとしてなど、少しでも練習環境の向上に寄与できているならば幸いです。まだ課題も多くありますが、後世にも受け継ぐことができるよう改良していければと思います。

次に今年度の女子パートの目標についてです。陸上部全体の目標では「七大戦優勝」を掲げており、女子パートでも「七大戦優勝」の目標を掲げております。目標の達成、そして女子チーム4連覇を達成するためには、部員一人一人が自覚を持ち、全員で戦うことができるような体制づくりが重要であると考えています。毎週の女子ミーティングにおける練習の反省や課題の発表、また、新たに取り入れたマネージャーによる書記の制度などを通じ、女子パート内での情報共有、ひいては個人の競技力向上を目指して欲しいと思っております。そして目標の達成はもちろんのこと、部員一人一人が個性を發揮し、陸上競技を楽しむことができるような環境を、女子主将として作ってまいります。

今年度は新型コロナウイルスの蔓延により各種大会が中止・延期になるなど、先が見えない不安定な状況が続いております。しかし、そのような練習さえも制限される状況においても、各パートキャプテンの協力や練習日誌の共有などを通じ、どうにかモチベーションを維持できるような体制づくりをしてまいります。そしてチーム一丸となり、然るべき

時に各人が持てる力を存分に発揮できるよう、尽力いたします。

最後になりますが、日頃より東北大学陸上競技部に多大なるご支援をいただいております三秀会の皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。昨年度は例年より一層のお力添えをいただき、非常に充実した練習を積むことができました。恵まれた環境のもと、来たる七大戦に向け精進して参ります。至らぬ点多々あるかと存じますが、これからも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い致します。

#### ◆短距離 PC 上村 赴之

昨年の夏より短距離パートキャプテンとなりました、上村赴之です。短距離パートは今シーズンの目標として、【七大戦短距離パート優勝】、【短距離部員全員ベスト更新】を掲げています。厳しい冬季練習を乗り越えて、特に若い選手を中心に成長を感じています。しかし、新型コロナウイルスの影響により、様々な大会が中止になり、更に部活動停止となりました。厳しい状況ではありますが、このような状況の中でこそ選手個人個人が今の環境でどのような練習ができるか考え、鍛錬に勤しんでもらいたいと考えています。

今行っている対策として、練習日誌をつけてもらうことにより、選手のモチベーションを維持し、向上心を高めようと試行錯誤しています。

この状況を乗り越えた後に、選手全員がより高いステップにいることを目標に、パートキャプテンとして何ができるか努力し続けたいと思います。

#### ◆ハードル PC 二ノ神 遼

昨年の七大戦以降、ハードル PC を務めさせていただいております、二ノ神遼です。

我々ハードルパートは目標として、「主要対校戦で各種目複数名の入賞」「七大戦のハードル種目で得点トップ」の二つを 2020 年シーズンの目標として掲げ、冬期練習に取り組んで参りました。一つ目については、学内競争の激化および競技力の底上げを狙いとしています。ハードルパートは他パートに比べて人数が少ないため、正選手争いが起こりにくく、選手間にも競技力に差があります。各種目二番手以降の選手が力をつけていくことで、練習から争いが生まれ全体のレベルアップにつながると思います。また二つ目については、昨年の七大戦では事前ランキングでトップに立っていながら、当日は 1 点差で京都大学に上回られてしまいました。昨年の雪辱を果たすために、また七大戦優勝を目指すチームにハードルパートから勢いを生み出せるようにこの目標を設定しました。

今シーズンは新型コロナウイルスの影響で各種大会の中止・延期が続いており、この先もどうなるのか分からないというのが現状です。ハードルパートでは引き続き練習日誌の記入を行っており、お互いの練習の取り組み方、競技に対する考え方を共有することで選手のモチベーション維持に努めています。

このような状況だからこそ上の目標及び個人の目標はぶれずに持って、日々の練習に取り組んでいきたいと思っております。応援よろしくお願い致します。

#### ◆中距離 PC 金田 大輝

中距離 PC を務めさせていただいております、金田大輝です。今シーズンの中距離パートの目標は全カレの出場と七大戦での複数入賞です。

1 つ目につきましては、昨年度の東北インカレの成績が、優勝まであと一步という結果でした。今年度は長らく中距離パートを牽引し、ラストシーズンを迎える M2 の先輩方と、それに追いつき追い越せの精神で成長してきた学部生、どちらも昨年を超える活躍が期待されます。また女子に関しましてもさらなるレベルアップを果たしました。東北インカレ、全カレが開催されるかは未定ですが、開催を信じ、全カレ参加標準を目指し日々励みたいと思っております。

2 つ目につきましては、こちらも昨年度、今の学部 4 年生を中心に大きく成長を遂げたものの 800m、1500m の両方で得点まであと一歩という結果でした。しかし昨年悔しい思いをした分、全員が懸命に練習に励み成長しました。女子も先輩からのバトンを引き継ぎ今年度も得点が期待されます。近年七大学の中距離種目のレベルは上がっていますが、その中でも東北大学の複数人の優勝や入賞が狙えると信じています。

最後になりますが日頃から東北大学陸上競技部を応援してくださっている OB・OG の皆様にこの場をお借りして感謝を述べさせていただきます。今シーズンも更なる成長を目指して日々励んで参りますので、暖かいご支援のほどよろしくお願いいたします。

#### ◆長距離 PC 石垣 雅生

長距離 PC を務めます 2 年の石垣雅生です。

昨シーズンは多くの OB・OG の方々のご支援のおかげで、無事に活動を終了できたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。昨シーズンの宮城県駅伝と二十七大駅伝では二位という結果を残すことができ、チームの成長を感じることが出来ました。

今シーズンのチームの目標は、全日本大学駅伝に出場し、部記録を更新することです。昨シーズンは田沼元 PC のもとで学部生メインの若いチームの土台を作った一年間だったと考えています。そして今のチームは着実に力をつけ、部記録更新を狙えるチームになってきていると考えています。しかし、今の力では部記録を更新することは難しいですが、全員が目標の達成を目指して力をつけていくことが出来れば部記録の更新ができるチームになると信じています。そこで、今年のチームは全日本大学駅伝で部記録である 5 時間 41 分 20 秒を更新することを目標に残りの七ヶ月間鍛錬をしていきたいと思えます。

また、本戦での部記録更新と併せて、予選会での圧倒的勝利を目標にしています。具体的には総合優勝とともに 10 k m の部 16 k m の部の優勝を掲げ、本戦での部記録更新に向けて良い流れを作れるよう、大きな目標として認識しています。そのため、新たなエース格の台頭とチームの層の厚さの強化を優先してチームを作っていくと考えています。

昨年、予選会で負けた悔しさを糧に、今年こそは東北大学のチームで伊勢路を駆けられるようにチーム一丸となって頑張りますので、OB・OG の皆様のご支援宜しくお願い致します。

#### ◆女子長距離 PC 古川 咲良

長距離女子 PC を務めさせていただいています、古川咲良です。

今シーズンの長距離女子パートとしての目標は、七大で 3000 の正選手を長距離女子から出すこと、全員 PB 更新、の 2 つにしました。

まず 1 つ目の目標についてです。この目標は一昨年、昨年と引き続き、長距離女子パートから七大で 3000 の正選手を出せておらず、他パートに頼ってしまっているところがあるため、設定しました。来シーズンは、3000 の得点に大きく貢献してくれていた 4 年生の先輩もいなくなり、3000 での得点は今までよりも厳しいものになると考えられます。しかし、そんな中で自分たちにできることを考えると、やはり正選手として七大に出場することが部に貢献することに繋がると思っております。

次に 2 つ目の目標についてです。これは、1 つ目の目標を達成するのに不可欠な目標ともいえます。実際、私の今の 3000 の PB では、正選手獲得には到底及びません。全員が 11 分前半、それ以上を目指す必要があります。また、一人一人が少しずつでも今までの自分を越えていくことは、部にとってはもちろん、個人として陸上競技をやるということの醍醐味であると思っております。レースごとに自己ベストを更新する勢いで頑張りたいと思えます。

長距離女子パートは人数が少なく、一緒に練習ができないことも珍しくありません。個人競技とは言っても、仲間がいないとやはり、やる気がなくなってしまったり、モチベーションが下がってしまったりすることもあります。しかし、そんな状況でも長距離女子をいつも気にしてくださる監督や、先輩方に支えられながら、日々の練習を頑張っております。至らぬ点ばかりですが、精進してまいりますので、応援の程よろしく申し上げます。

#### ◆競歩 PC 山岸 忠相

競歩 PC を務めさせていただいております、山岸忠相です。

競歩パートでは、七大戦での二桁得点、競歩日本選手権の標準突破を目標に日々練習しています。前者はパート全体としての実力の底上げ、後者は個人としての競技力の向上が必要になる目標です。特に今年度の七大戦の入賞ラインは混戦が予想されるため、今まで以上に勝負強さが求められてきます。

パートの状況ですが、昨シーズン終盤では自己記録の更新も多くみられ、冬季練習ではロードレースに合わせて長い距離を歩き込んできました。トラックシーズンに向けては、勝負どころで競り負けない強さを身につけられるように練習の質を上げていきます。

春の合宿や記録会といった力試しの機会はなくなってしまいましたが、それぞれが目標を意識できるよう工夫して練習していきたいと思っています。人数の少ないパートですが、部の目標に貢献できるよう頑張りますのでよろしく申し上げます。

#### ◆跳躍 PC 佐藤 大斗

こんにちは、跳躍 PC の佐藤大斗です。

跳躍パートの今年度の目標は、「全員 PB 更新」「東北 IC、北日本 IC で跳躍 4 種目のうち最低 2 種目で入賞」「七大戦で 29 点以上の得点」です。地方 IC や七大戦で得点することを考えると全員の PB 更新が必須であるのはもちろんですが、パート内での PB 更新者の増加は正選手争いの激化を促し、全体的な記録の向上にも繋がるはずで、そして、試合に出場できる正選手だけが戦っているのではなく、パート全体としてシーズンを戦い抜くという意識を持ってほしいという狙いもあり全員の PB 更新を目標に掲げました。また、現状で七大戦の得点ラインに絡んでいるのは男子棒高跳と男子走幅跳で、29 点以上得点するという目標は厳しいように見えるかもしれませんが、しかし、我々跳躍パートは前シーズン終了後から各々が自分を見つめ直し、明確な課題を持って冬期練習を乗り越えました。私の目から見ても皆確実に成長しています。それを踏まえればこの目標は決して手の届かない位置にあるわけでは無いはずで、これからどの程度まで仕上げられるかは個人の努力次第ですが、PC として全員を勢いづけられるよう尽力していきます。

現在コロナウイルスの影響で部としての活動が GW 明けまで禁止されており、4 月の記録会の中止や東北インカレの延期など例年のシーズンインとはかなり異なる状況に私自身多少の戸惑いは隠せませんが、上記の目標達成に向けてやるべきことは何も変わりません。跳躍パートはただ目の前のことに淡々と取り組み、どんな状況になろうとも各々が 100% の力を発揮できるように備えるだけです。この状況でも決して腐らずに成長していきますので、今後の跳躍パートの活躍にご期待ください。

#### ◆投擲 PC 大野 誠尚

投擲パート PC の大野誠尚です。

自分からは 2020 年シーズンの投擲パートの目標と現在のパート内の様子について話させていただきます。

私がパート長を行ううえで立てた目標は「七大戦で 16 点以上獲得すること」、「パート内

全員が関東インカレのB標準記録を突破すること」と言うものです。2019年の七大戦では、下馬評では点数をとれそうだった選手が中々点数を取れなかったり上げられなかったりしました。そのため、なんとかしてこの1年間でパート全体としての底上げをすることが1番大切だと考えました。そして、来年の七大戦では投擲種目の合計で16点以上取り7大学中2番以内につけたいと考えています。

東北大の投擲パートは7人ほどであり、他大学と比べると人数がとても少ないです。しかし、ほぼ全員、投擲種目の競技歴が長く、各々自分の苦手とするところや足りない部分を理解していると思います。そのため、自由度の高いメニューを最近ではこなすようにしています。

先に掲げた目標を達成するためには、本番でも崩れない投擲技術やその技術の基盤となる筋力を鍛えるより一層ハードなトレーニングが必要になってくると思います。そのため、投擲パートのメンバーは、みんなとても向上心が高いので、自分にとって最高のメンバーに囲まれていると思います。

### ○第17回国公立27大学対校駅伝(2/22)…埼玉・熊谷スポーツ文化公園

国公立27大学が熊谷に集結し、駅伝を行うこの大会も今年で17回目の開催となりました。越後山脈を越えて吹く強い風に各選手悩まされましたが、女子は優勝、男子は準優勝と素晴らしい成績を収めました。オープンの部を含め、各出場チームの記録を掲載します。

男子 2位 1:58:21

| 区間 / 距離   | 名前(学年)    | タイム(合計)        | 区間順位(全体) |
|-----------|-----------|----------------|----------|
| 1区 9.85km | 松浦 崇之(4)  | 29:22          | 1位(1位)   |
| 2区 3.12km | 三浦 大樹(4)  | 9:37(38:59)    | 9位(3位)   |
| 3区 7.57km | 石垣 雅生(2)  | 24:06(1:03:05) | 9位(4位)   |
| 4区 5.00km | 立野 佑太(4)  | 15:27(1:18:32) | 3位(4位)   |
| 5区 5.00km | 田沼 怜(3)   | 15:31(1:34:03) | 3位(3位)   |
| 6区 8.00km | 柚木 友哉(M1) | 24:18(1:58:21) | 1位(2位)   |

女子 優勝 58:37

| 区間 / 距離   | 名前(学年)    | タイム(合計)      | 区間順位(全体) |
|-----------|-----------|--------------|----------|
| 1区 5.00km | 上條 麻奈(3)  | 17:46        | 3位(3位)   |
| 2区 3.12km | 阿部 柚佳(1)  | 11:51(29:37) | 4位(5位)   |
| 3区 3.12km | 加藤 ひより(3) | 12:03(41:40) | 3位(5位)   |
| 4区 5.00km | 栗原 唯(M2)  | 16:57(58:37) | 1位(1位)   |

オープンの部

男子 東北大学B〈長田-児玉-黒須-臼井-八鍬-木村〉2:04:58

東北大学A〈工藤-五十嶋-阿部圭-酒井-松舘-脇田〉2:14:08

### ○第73回宮城県駅伝競走大会(11/17) …石巻市総合運動公園・北上川周回コース

強風吹き荒れ、非常に厳しい環境下での駅伝となりました。その中でもAチームが優勝まであと一步まで迫る2位となり、大学生のチームの中では最も良い成績を収めました。オープンの部を含め、各出場チームの記録を掲載いたします。

◇2位 東北大学 A チーム 2:56:08

| 区間 / 距離   | 名前(学年)   | タイム(合計)        | 区間順位(全体) |
|-----------|----------|----------------|----------|
| 1区 6.5km  | 田沼 怜(3)  | 21:54          | 3位(3位)   |
| 2区 6.7km  | 立野 佑太(4) | 21:59(43:53)   | 1位(1位)   |
| 3区 5.9km  | 松舘 快(2)  | 21:38(1:05:31) | 5位(2位)   |
| 4区 8.4km  | 石垣 雅生(2) | 28:49(1:34:20) | 5位(4位)   |
| 5区 10.0km | 松浦 崇之(4) | 28:35(2:02:55) | 1位(2位)   |
| 6区 10.2km | 木村 秀(3)  | 33:57(2:36:52) | 4位(2位)   |
| 7区 6.4km  | 三浦 大樹(4) | 19:16(2:56:08) | 3位(2位)   |

◇10位 東北大学 C 〈伊藤-若林-平井-酒井(健)-牧野-臼井-八鍬〉 3:06:43

◇18位相当 東北大学 B 〈五十嶋-金田-脇田-児玉-工藤-黒須-西村〉 3:13:11

○令和元年度三秀総会(12/1) 新宿 ビアレ스토랑 ライオン会館

平成27年から、東京にて三秀総会が開かれるようになりました。日程は、奥多摩溪谷駅伝競走大会の開催日に合わせています。

柴田幹事長(S52)の開会宣言の後、稲見会長(S49)からご挨拶を賜りました。令和元年度活動報告、会計報告が行われた後、令和2年度活動計画、予算審議が行われ、承認されました。役員改選では、工藤佑馬さん(H24)が推挙され、承認されました。

総会の後、同会場にて忘年会が行われました。

出席者(敬称略)

倉内正、谷津利夫、藤田文夫、稲見文雄、尾本俊、佐藤健二、柴田清、遠藤久則、大岩章夫、佐藤源之、園盛之助、古澤元一、真山隆徳、槇山正春、秋山真一郎、三浦得雄、菊池浩、上野哲寛、久保正樹、和泉俊介、菅原靖宏、吉田真人、上杉直史、武田一彦、八木洋光、長谷川翔平、斉藤純、新田和樹、工藤佑馬、尾形翔平

○令和元年度卒業祝賀会(2/29) 東北大学片平北門会館 1F「さくらキッチン」

この会は平成24年に始まり、現役部員諸君が卒業後に三秀会会員として活躍することを期待して企画されています。そして、三秀会会員が今春学部を卒業する陸上競技部員を招待し、お祝いするという形式で開催されています。新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されましたが、2月末日であったことから、予定通り開催されました。

今年は、卒業生26名を新たに三秀会員として迎えることになりました。大学院生4名を含めOB16名が参加しました。はじめに、稲見会長(S49)から祝辞を賜りました。そして、及川拓郎さん(S47)の乾杯にて開宴となりました。暫く歓談した後、卒業生一人一人が、4年間の競技生活をふりかえるとともに、三秀会会員としての豊富を述べました。また、参加したOBの方々にご挨拶いただきました。最後に、柴田幹事長(S52)が中締めをしました。

出席したOB・OG(敬称略)

及川拓郎、稲見文雄、柴田清、佐藤健二、大浦譲、佐藤源之、真山隆徳、渡邊裕生、岩松正記、彦坂幸毅、久保正樹、吉田真人、大塚祐貴、千葉智史、藤井佳祐、森涉  
ご祝儀を頂戴した方 五十嵐敏夫、大原綾、菅野均志、藤澤鐘吾

○三秀会関東支部皇居一周・懇親会

今般の新型コロナウイルス感染拡大をうけ、例年6月に開催している関東支部行事、皇居一周と懇親会の開催を今回は見送ることとしました。

## ○自己ベスト更新者一覧(11/11~4/05)

- 男女混合 4×400mR  
倉田(4)-佐貫(4)-上条(4)-羽田(4) 3'42"62  
(短長フィールド競技会)
- 男子 1500m  
金田 大輝(2) 4'13"01(学連競技会)
- 男子 5000m  
立野 佑太(4) 14'44"53(日体大競技会)  
柚木 友哉(M1) 14'57"03(MKテイスティス)  
田沼 怜(3) 15'24"36(日体大競技会)  
八鍬 佳紀(1) 16'03"78(学連競技会)  
伊藤 祐希(1) 16'05"46(学連競技会)  
若林 郁生(4) 16'47"84(学連競技会)  
西村 樹(2) 17'23"59(学連競技会)
- 女子 5000m  
栗原 唯(M2) 16'34"98(日体大記録会)
- 男子 5000mW  
森 渉(M2) 23'16"95(学連競技会)
- 男子 10000m  
松浦 崇之(4) 29'52"62  
(10000m 記録挑戦競技会)
- 柚木 友哉(M1) 31'47"69(日体大競技会)  
牧野 雅紘(2) 32'33"55(学連競技会)  
石垣 雅生(2) 32'41"72(学連競技会)  
三浦 大樹(4) 33'28"27(学連競技会)  
工藤 大介(1) 34'18"12(学連競技会)  
児玉 健太(1) 34'20"25(学連競技会)  
若林 郁生(4) 35'08"95(東海大記録会)  
臼井 駿斗(3) 35'43"63(学連競技会)
- 男子 10000mW  
山岸 忠相(2) 47'03"30(国士館大記録会)  
森 渉(M2) 47'39"02  
(ひろしま県央競歩記録会)
- 男子 20kmW  
中川 岳士(M2) 88'37(元旦競歩)
- 男子ハーフマラソン  
柚木 友哉(M1) 69'38(柏の葉パーク)  
黒須 大地(3) 71'23(カップハーフ)  
長田 公喜(4) 72'01(赤羽ハーフ)  
牧野 雅紘(2) 74'08(赤羽ハーフ)

## ○今後の予定

- 5月10日(金) 東北大学陸上競技部部員総会(仙台)

## ○編集後記

長かった冬が終わり部員一同トラックシーズンにむけて春練習に移行しようとしていた矢先に新型コロナウイルスが日本で猛威を振るい始めました。ただいま合同練習は禁止、多くの大会が延期または中止となっています。しかし部員一同モチベーションを切らさずに個人練習に励んでおります。今年も三秀会員様に良い報告ができるようこの厳しい時期を乗り越えていこうと思います。

本年も東北大学陸上競技部の応援をよろしく願いいたします。

文責 副務 牧野雅紘

### 三秀会会費納入先

- 会費** 正会員：年額一口1000円3口以上  
卒業後50年を経過した会員、陸上競技部部費を納入した陸上競技部員：免除
- 振込先** りそな銀行仙台支店 普通口座  
口座名義：三秀会 稲見文雄 (サンシュウカイ イナミフミオ)  
口座番号：1305830 (店番号：433)  
通信欄には、卒業年度、氏名を明記ください。(例) S52シバタキヨシ

- 過去2年間会費納入の無い会員の方への三秀送付を見合わせております。
- ご入金は全て当該年度として扱います。会計年度は11月1日から10月31日です。
- 特別な場合を除き、全て「三秀会費」として扱います。